

しだみ東学区 通信

Shidami East School district Communication News



◆編集・発行
志段味東学区連絡協議会
学区通信編集委員会
名古屋市守山区大字
中志段味字宮前 1175-1
志段味東コミュニティ
センター内
TEL&FAX 052-736-4506

恩師のミニライブに歓声 —— 成人の日記念式典



下志段味、志段味東、上志段味の三学区合同による「成人の日記念式典」が1月13日、志段味地区会館で開催され、二十歳を迎えた171人の成人が参加しました。

式典は西村上志段味学区区政協力委員長の挨拶から始まり、恒例となった恩師によるビデオメッセージが流されると会場から大きな拍手と歓声が巻き起こりました。

このビデオメッセージは今年で3回目。様々な規制を伴ったコロナ禍で生まれた新企画で、会場に直接参加できない恩師へビデオメッセージを依頼したのが始まりです。今回は、志段味

中学校、下志段味小学校、志段味東小学校に在籍していた恩師11人（9組）が参加。約14分間のビデオ再生の後半では、映像に出演していた志段味中学校の恩師の一人である小林竜年先生（昨年扇台中を退職）がサプライズ登場。ミニライブさながらのギターの弾き語りで会場を沸かせました。※写真

参加者からは「同級生との再会はもちろんだが、恩師のサプライズ出演には感動した。参加してよかった」と話していました。

閉会の挨拶に立った鎌倉委員長は「今日の感動をこれまでお世話になった家族や友人の方と

ぜひ分かち合ってください。そして志段味のまちで育ったという共通認識のもとで、ぜひ志段味のアイデンティティを忘れずに、この先、様々な舞台で活躍されますことを期待します」とメッセージを送りました。

今年も天候にも恵まれ参加率は9割以上、会場は付き添いの家族も含め満杯状態になりました。一方、今後の参加者数は2年後の令和9年

から急増することが予測（別表）されており、収容人数の問題から地区会館での開催が困難な状況となります。

よって、新たな会場確保が課題となりますが、他の会場候補として志段味中学校もしくはサイエンスパーク交流プラザを視野に検討していくこととなります。



志段味地区会館における成人の日記念行事出席者数の推移と見込み

事 項	3年1月	4年1月	5年1月	6年1月	7年1月	8年1月	9年1月	10年1月	11年1月
対象者数	115	134	131	147	188	189	263	259	306
出席者数	89	111	111	141	171	181	252	248	293
出席率	77.4%	82.8%	84.7%	95.9%	91.0%	95.9%	95.9%	95.9%	95.9%

※対象者数（中学3年生）は名古屋市の教育調査統計に基づいて算出



なぜ成人式と呼ばなくなったの!?

これは令和4年4月から成年年齢が18歳に「引き下げ」になったことをうけ、これまで成人=20歳を前提とした「成人式」が、多くの自治体で「二十歳のつどい」といった名称に変更されました。

当時、名古屋市も複数のアンケート調査を実施しましたが、いずれの調査も「20歳で実施するのがよい」という結果となり、市内全区で実施してきた「成人式」から「成人の日記念行事（式典）」という名称に変更されています。



新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。学区連絡協議会役員一同

まちかどインタビュー vol.12

ご近所の芸術家、市長賞を受賞！！

今回の街角インタビューは、第 61 回守山区民美術展の洋画部門で見事市長賞を受賞されました水野忠（まこと）さんです。中志段味在住の水野さん、日ごろの創作活動や作品に関する思いなどをお聞きしました。



水野忠（まこと）さん

Q. あらためまして市長賞受賞おめでとうございます。まずは受賞のご感想からお聞かせください。
——友人の勧めで、初めて出品させていただいた作品が受賞できるとは思ってもいませんでした。本人が一番驚いています。

Q. 今回の入賞作品ですが、テーマやこの作品に込めたメッセージ、意図があれば教えてください。
——テーマは「静寂」にしました。本来の役目を終えた農業用ため池のほとりに横たわる流木が、ただ、ただそこにあり続ける風景に感じ入りました。

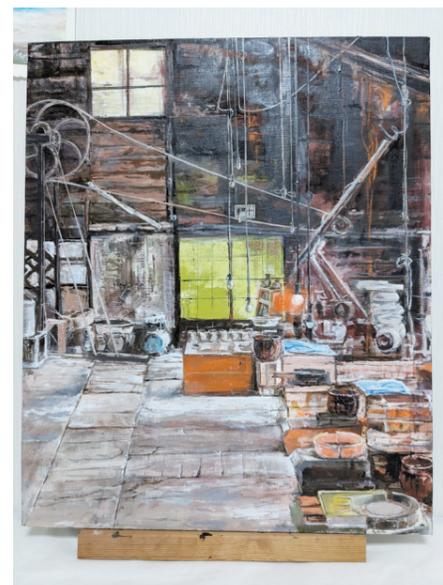
Q. また、制作過程でこだわった部分、最も苦労した点は何でしょうか。
——忠実にそこにある風景を描き続けることにこだわりましたが、自分の「思い」のようなものを同時に描きたいと思いました。

Q. 創作活動についてお伺いします。絵画を始めたきっかけを教えてください。
——2年前ぐらいに、むかし絵を描いていた時の道具が小屋の奥から出てきたのがきっかけで、また描いてみようと思いました。

Q. これまでの創作活動で最も印象に残っている出来事（作品等）があれば。
——若いころ、美術学校で絵を学んでいた時の友人たちとの思い出と友情です。➤



◀市長賞を受賞した作品「静寂」



◀風景画

Q. ずばり油絵の魅力は。
——絵は誰でも、いつでも自分の思いをはき出せることです。
Q. 今後挑戦してみたいテーマや技法はありますか。
——テンペラ技法をマスターできればと思っています。
Q. 最後に絵画以外の趣味や興味について教えてください。
——溪流でのフライフィッシングとフライタイイング（毛針作成）です。また、孫の描いた絵を見ることです。
ご協力ありがとうございました。

マメ知識 ※テンペラ技法とは、絵具と乳化作用を持つ物質を混ぜて描くヨーロッパの古典絵画技法です。絵具を固定するのに水に溶いたタンパク質を利用し、特に卵黄が材料として優れていると言われています。（ネットより）

建設会社事業所と災害協定（覚書）を締結 ——災害時、重機や運搬車両を貸出し

地域と事業所が一体となった災害に強いまちづくりを進めるため、志段味東学区防災安全まちづくり委員会は1月14日、中志段味に本社がある株式会社匠創（しょうそう）様と大規模災害時における支援協力に関する覚書を締結しました。

支援内容は、①重機、運搬車両の貸出し（オペレーター、運転士を含む）、②救助資機材等の貸出し、③その他可能な範囲における支援協力——となっています。

株式会社匠創様が加わったことにより、志段味東学区と締結している地域防災協力事業所は10事業所になりました。

いうまでもなく発災時には迅速な対応が可能な地元事業所の協力が不可欠です。とりわけ重機や運搬車両を使った瓦礫等の撤去は、輸送路を確保する上でも最優先に取り組みなければなりません。

あらためて株式会社匠創様に感謝を申し上げます。



編集後記 ギターの弾き語りで参加者を魅了した小林竜年先生、その力のこもったメッセージに誰もが感動しました▼その成人の日記念式典、4年後には昨年実績の約2倍となる勢いで参加者が急増します。全国的に少子高齢化傾向にある中、志段味地区のまちづくりの成果がここに表れています▼本人が一番驚いたという市長賞、本来の役目を終えた農業用ため池のほとりに横たわる流木が描かれています。まさに「静寂」の世界が伝わってきます▼能登半島震災から1年が経ちました。被災地では今なお避難所生活を強いられている住民が多くいます。一刻も早い救済と復興を願うばかりです。学区では10件目となる災害協定の覚書を地元の建設事業者と締結しました。災害への備えは待ったなしです▼今年は巳年、蛇は古代から再生や永遠の象徴とされ、皮を脱ぎ捨て新たな姿に生まれ変わる姿がその象徴となっています。今年は一皮も二皮も剥く勢いで、古きを知り、新しきを知る一年にしたいと思います。本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。（K）

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。学区連絡協議会役員一同